



平成21年度 町長施政方針

安全安心の町を目指して 夢と希望を与える行政経営

平成二十一年第一回町議会定例会が、三月二日から二十三日までの二十二日間にわたり行われ、初日に川村光朗町長が町政運営の所信を述べました。ここでは、町長の平成二十一年度施政方針（要旨）と予算の概要についてお知らせします。

昨年の町政におきましては、第六次総合計画前期実施計画の三年目として、町民誰もが安全安心を感じることが出来る町づくりを目指し、対話の中から町民の皆さまのご意見を尊重しつつ、土地利用計画や都市基盤整備、保健福祉、健康づくりなどに誠心誠意取り組んでまいりました。特に、岩手医科大学附属病院および関連施設の移転先となる新たな用地や新市街地の拡大につきましても東北農政局との農地の事前調整に入ったところであり、また、矢巾中学校の移転改築につきましても、移転候補地について建設委員会から答申を受けたところであります。

スポーツ関係では、矢巾中学校のハンドボール部が東北大会男女アベック優勝の活躍で創立五十周年に花を添え、県立不来方高校サッカー部が全国高校サッカー選手権大会初出場を果たし、また、経済文化面では、不動小学校が全国歯科保健表彰で最優秀賞の文部科

学大臣賞に輝くなど、発展する町の未来に希望を感じさせる年でありました。財政関係につきましても、地方自治の財政の根幹である安定的な財政運営には地方税等の自主財源の確保が重要であり、百年に一度といわれる経済危機の中で確保は困難を伴い、厳しい財政運営が続くと予想され、中期的な歳出面の見直しを含めた検証を進めたところでもあります。このような時期であるからこそ、改革努力によって生み出される財源を「町民に活力と希望を与える施策」になお一層効率的に活用するため、果敢に取り組み必要を感じております。

平成二十一年度予算の概要について、第六次矢巾町総合計画の五つの施策体系に沿って、主要な事業に関し、取り組みや課題についてご説明しあげます。（左ページ表を参照）
次に、基本理念である「みんなでつくる　うるおい豊かに躍進するまち

やはば」を実現するため、協働によるまちづくりを基本とし、行政諸施策の実態を正しく町民に周知するとともに、広く町民の声を聴き、理解と協力を得ながら強い信頼関係を築き、住みよい地域社会を自らの手で形成する組織的活動を支援してまいります。

なお、岩手医科大学総合移転整備計画第二次事業が予定を繰り上げる旨発表されましたが、移転後はますます活気あふれる「矢巾町」が実現できるものと思われれます。本町としても新たなまちづくりに向け連携した整備に努め、今後予定されております附属病院の移転につきましても、早期に実現できるよう働きかけてまいります。

普通会計中期的財政見直しにおいて、歳入面では、自主財源である税や、依存財源である地方交付税などの伸びは、当面期待できないものと想定しております。また、財政健全化の指標である「実質公債費比率」は平成十九年度決

算において二〇・二％であり、平成二十四年度までに健全化の基準である一八・〇％未満に下げる観点から、投資的事業の財源として地方債を導入することもできない状況にあります。一方、歳出面では、義務的経費の大きな削減も困難な段階にきており、第六次総合計画の投資的事業に加え、小学校の耐震化など安全安心なまちづくりに要する新たな支出も予定されており、平成二十一年度予算は依然として厳しい行政運営が求められ、財政基盤の確立と健全性を維持することがますます重要となることから、簡素で効率的な事業の推進に努めてまいります。

今後も安全安心の町を目指し、思いやりの心を重視し、「スピードアンドチャレンジ」をスローガンとし、創意と工夫を凝らして業務を遂行し、町民に夢と希望を与える行政経営を行うため、全力を傾注して町政を遂行してまいります。

平成 21 年度 施政方針の主な施策

①自然、都市と農村が調和するまちづくり

土地利用計画の見直し...岩手医科大学附属病院等移転新設用地や、関連する新市街地の拡大のため、市街化区域の編入に向けて取り組みます。

農業基盤の整備...水田区画の拡大化や汎用化、パイプライン化を進め生産性の向上を図るため、徳田第二地区と下矢次地区のほ場整備を推進します。

都市基盤の整備...矢幅駅周辺整備について、駅西地区は面的整備を図るとともに町有地と保留地販売に努め早期の事業完了を目指し、駅前地区は用地の先行取得を進めるほか、民間活力導入に伴う提案書の再募集を行い、平成 23 年度の工事着手を目指します。広宮沢第二地区は、組合と一体となり企業誘致や住宅販売に努め、自主財源の確保に向けて積極的に取り組みます。

幹線道路網の整備...岩手医科大学の移転計画や矢巾中学校建設計画などと整合するアクセス道路の整備に向けた計画を推進します。

②地域に根ざした活力ある産業のまちづくり

農業の振興...水田経営所得安定対策や農地・水・環境保全向上対策を推進し、集落ぐるみで農業用施設などの環境保全を守る活動を支援します。また、国の支援策を最大限に活用しながら、集落営農組織の強化や認定農業者の所得向上に取り組みます。

商工業の振興...優良企業の誘致と町内企業の交流を促進し企業ネットワークの形成を図り、また、資金融資事業を行い、商工業の振興と経営の安定に努めます。また、入居企業に対する企業訪問を実施しフォローアップに努め、一層の企業誘致活動に取り組み、雇用の創出と経済の活性化に努めます。

③安全で快適なやすらぎのあるまちづくり

生活道路の整備...交通量を予測しながら維持補修に努め、地域の生活に支障のない整備を進めます。

上水道の整備改善...水需給環境の変化を的確に把握して安定給水を確保するとともに、適切な整備改善を進め安全で安心なおいしい水の供給に努めます。

下水道の整備...公共下水道事業は矢幅駅西地区区画整理事業地内や既存集落を中心に、着実に整備の促進を図ります。農業集落排水事業につきましては、排水設備設置補助を活用しながら普及推進を図り、また計画区域外の地域に対する浄化槽設置補助事業を継続し、公共水域の水質保全に努めます。平成 21 年度末の汚水処理人口普及率は 92.2% となる見込みです。

雨水排水整備...岩崎川排水区の整備を進めます。

環境保全...ごみの減量化、資源化、再利用、分別収集など、町民と一体となり意識の高揚を目指した活動を展開します。また、容器包装リサイクル推進施設の平成 22 年度稼働に向け、各地域で分別方法などの実践に取り組みます。

コミュニティ活動...住みよい地域社会を自らの手で作るため、自主性と創造性を尊重しながら、地域づくり活動を支援します。

防災体制の整備...消防団の活性化や自主防災組織の育成強化に力を入れ、自助・共助・公助を基本とした地域ぐるみの防災体制の構築と防災意識の高揚を図ります。また、水害防止に向け煙山ダムの管理に万全を期するとともに、岩崎川の早期改修の実現に取り組みます。

防犯・交通安全...犯罪のない明るく住みよい地域社会を目指し、地域安全推進隊の活動を推進し、防犯連絡員等関係団体と連携を密にしながら地域の安全安心を図ります。また、事故のないまちづくりを目指し、広報活動などを継続し町民の意識の高揚を図るとともに、交通指導員の街頭指導や園児や高齢者の交通安全教室を積極的に取り組みます。

④安心で生きがいのある健康長寿のまちづくり

高齢化社会への対応...介護保険事業による介護サービスの充実および介護サービスの提供を図ります。また、65 歳以上の高齢者を対象とした生活機能評価健診を実施するとともに、地域ケア体制の強化に努めます。

妊婦健康診査の助成...安心して妊娠・出産できるように、妊婦健康診査の必要経費の公費負担を 5 回から 14 回に増やします。

障がい福祉...地域生活移行や就労支援などを積極的に行い、福祉団体や地域住民などとの協働や連携を図り、障がい福祉サービスを展開します。

健康づくり...平成 20 年度から開始された特定健診と特定保健指導について、強化地区を設け平成 24 年度まで実施します。特定健診について、基本健診項目のほか、貧血・心電図・眼底検査の健診項目と尿検査の付加検診項目を追加します。さらには、国民健康保険の受診者は無料で健診・指導を実施します。

子育て支援...核家族化社会に対応した子育て環境に配慮するため、関係機関や団体等と連携し、地域における機能の充実や専門的支援など、きめ細やかな活動を実践します。次世代育成支援地域行動計画の見直しに向け、現場のアンケート調査をもとに子育て環境のさらなる充実に努めます。

保育園...私立保育園の運営経費などの支援を継続して行います。また、徳田保育園の移転改築を目指し、他の公共事業との整合性を図りながら用地取得を行う計画です。

児童館...身近で利用しやすい地域活動や、子育てに関する情報の提供を実施します。

⑤たくましく豊かな心を育てるまちづくり

学校施設改善と環境整備...矢巾中学校の移転改築を最大課題として、用地取得等具体的に事業を進めます。

社会教育...生涯の各時期に応じた学習機会の提供や支援、また新たな課題への学習の拡充を図り、その成果を地域社会に活かすことができる社会を目指します。

国際交流の推進...アメリカ・フリモント町、中国寧波市江北区との交流親善を継続して実施し、広い国際的視野を持った人材の育成を図ります。

文化財...国指定史跡である徳丹城跡について、今後の整備活用事業に向けた調査を実施します。

予算

80億4,530万円

限られた財源を有効に活用

主な事業の内容

<単位：万円（千円を四捨五入）>

民生費

- ▶ 重度心身障害者医療費助成事業に... 8,783
- ▶ 身体障害者福祉事業に... 58
- ▶ 障害者自立支援給付事業に... 2億4,126
- ▶ 地域生活支援事業に... 1,702
- ▶ 老人福祉総務事業に... 1,743
- ▶ 介護予防事業に... 1,438
- ▶ 地域子育て支援拠点事業に... 587
- ▶ 児童手当給付事業に... 2億3,530
- ▶ 私立保育園助成事業に... 1,020
- ▶ 母子福祉医療費助成事業に... 6,495

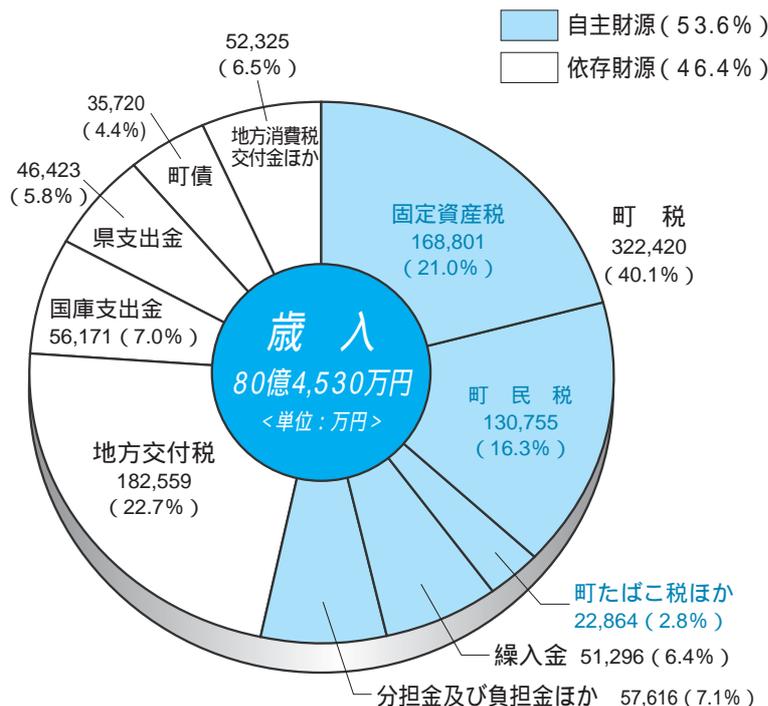
教育費

- ▶ 教育研究所運営事業に... 556
- ▶ 小学校整備事業に... 3,438
- ▶ 小学校教育振興事業に... 3,912
- ▶ 小学校英語力向上事業に... 170
- ▶ 中学校教育振興事業に... 2,712
- ▶ 中学校基礎学力向上事業に... 65
- ▶ 矢巾中学校建設事業に... 2億4,579
- ▶ 芸術文化振興事業に... 128
- ▶ 自治公民館運営事業に... 477
- ▶ 埋蔵文化財発掘調査事業に... 1,025
- ▶ 体育施設運営事業に... 495

予算は、四月一日から翌年の三月三十一日までの一年間に、町がどんな仕事にどれくらいのお金をかけて行うかを示すもので、一般会計と特別会計、企業会計の三つからなっています。

一般会計予算

平成二十一年度の町の一般会計当初予算は八〇億四五三〇万円となりました。矢巾中学校移転用地取得のため教育費が大幅に増大していますが、事業の見直しなどにより、前年に比べて予算総額で六一〇万円増と、ほぼ同額となっています。町に入るお金（歳入）は、景気の後退から町税が前年に対し約八千万円減の見込みから、全体に占める自主財源の割合は前年比〇・四ポイント減の五



*** 財 政 用 語 解 説 ***

地方交付税 = 町の財政力に応じて国から配分されるお金
 町債 = 大きな事業を行うときに借るお金
 国庫・県支出金 = 事業に対し国や県から交付される補助金など
 繰入金 = 積立てした基金を取り崩したお金
 総務費 = 全般的な事務経費や財産管理、統計調査費、広報経費など
 民生費 = 老人や障がい者、児童などの社会福祉のための経費
 公債費 = 事業を行うために借ったお金の返済金
 自主財源 = 町税や繰入金など町が独自に調達できるお金
 依存財源 = 国や県から交付されるお金や割り当てられる収入

総務費



33,783 円

教育費



39,615 円

公債費



40,645 円

民生費



82,722 円

一般会計予算を町民一人当たりで見ると・・・

296,459 円

平成 21 年 3 月 1 日
現在の人口 27,138 人

主な事業の内容

<単位：万円（千円を四捨五入）>

総務費

- ▶職員研修事業に..... 238
- ▶行政区管理運営事業に..... 1,226
- ▶人材育成事業（国際交流）に..... 300
- ▶交通安全指導事業に..... 616
- ▶防犯対策事業に..... 162
- ▶コミュニティ推進事業に..... 870

土木費

- ▶道路維持事業に..... 7,439
- ▶除雪事業に..... 2,227
- ▶町道の新設改良事業に..... 1億 156
- ▶河川改良事業に..... 360
- ▶駅東西自由通路等維持管理事業に... 1,686
- ▶都市公園の維持補修事業に..... 486
- ▶町営住宅の改修事業に..... 3,971

衛生費

- ▶成人検診事業に..... 4,205
- ▶母子保健事業に..... 3,179
- ▶予防接種事業に..... 3,598
- ▶感染症総合対策事業に..... 226
- ▶浄化槽設置整備事業に..... 805
- ▶ごみ処理場運営事業に..... 4億 2,028

農林水産業費

- ▶農業経営構造対策事業に..... 211
- ▶農作物流通消費拡大事業に..... 232
- ▶農業生産振興対策事業に..... 859
- ▶ほ場整備事業に..... 2,610
- ▶かんがい整備事業に..... 3,258
- ▶煙山ダムの維持管理事業に..... 672

消防費

- ▶非常備消防事業（消防団など）に..... 2,916
- ▶消防施設維持事業に..... 730

商工費

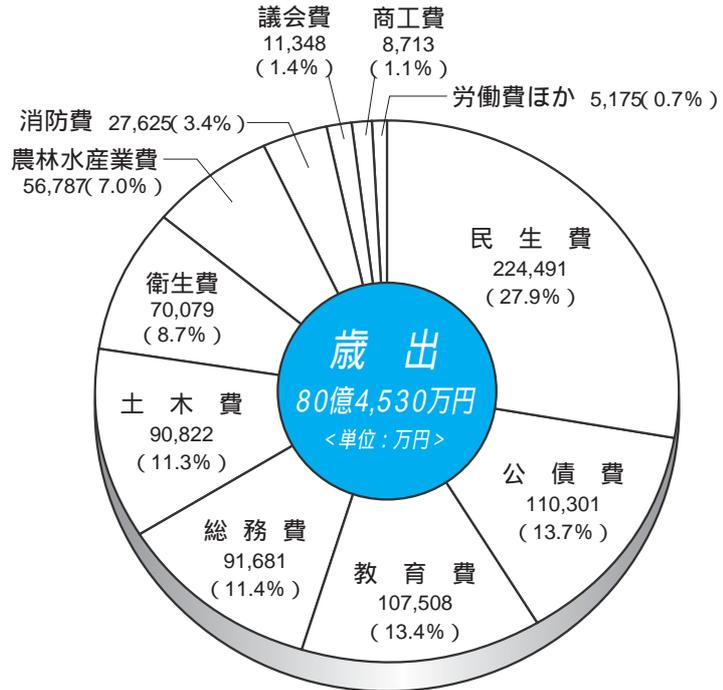
- ▶商工業振興事業に..... 1,625
- ▶中小企業振興資金貸付事業に..... 737
- ▶自然公園維持管理事業に..... 241
- ▶企業誘致推進事業に..... 476

労働費

- ▶就労者支援事業に..... 133
- ▶融資貸付制度事業に..... 2,900

特別会計・企業会計予算
特別会計については、国民健康保険事業をはじめとする七会計が総額五四億八九一四万円となりました。企業会計の水道事業は、収益的支出と資本的支出を合わせ、八億二〇七万円となっています。

三・六%となりました。国からの地方交付税は三千六百万円増（二二・七%）、町の借金にあたる町債は約五千二百万増（四・四%）となっています。お金の使い道（歳出）では、民生費が二二億四四九一万円（二七・九%）、公債費が一億三〇一万円（一三・七%）、先ほどの中学校移転関連で教育費が十億七五〇八万円（一三・四%）の順となっています。



平成 21 年度特別会計・企業会計の予算

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	214,949	農業集落排水事業	35,867
老人保健	986	矢幅駅周辺土地区画整理事業	60,294
介護保険事業	127,976	水道事業	54,679
後期高齢者医療	13,788	収益的支出	25,528
下水道事業	95,054	資本的支出	

単位：万円（千円を四捨五入）

消防費ほか



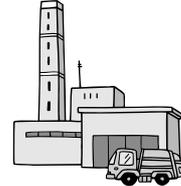
19,479 円

農林水産業費



20,925 円

衛生費



25,823 円

土木費



33,467 円